

登録コード	E2020900	開講年度	2026			
授業科目	漢文学基礎				担当教員	小林 比出代
英文授業名	Basic Chinese Literature				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生
講義室	教育M301講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	中国古典文学のさまざまな作品を読んで、語釈・通釈・語法などを理解する学習を通して、基礎を学ぶ。特に中心として唐詩を取り上げ、修辞法や主題、また形式や表現特徴などを考察し、詩の鑑賞を深める。 また、詩人・文人の生涯や作品が創作された時代背景、中国の文化などについても学び、中国古典文学を理解するために必要な幅広い知識と理解力を培う。さらには漢文の授業を展開するにあたっての指導力を養う。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	漢文学に関する専門的知識・能力を習得し、漢文教育を遂行する上で根幹となる専門知を深め、授業実践に活用できるようにする。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	中国古典文学に関する基礎力と実践力を育成するために、次の内容を展開する。 ・作品を自ら訓読し、全体の意味を考える。分からない語句は自ら漢和辞典を引いて、語釈を考え、さらに通釈ができるようになる。 ・詩の形式や、詩の決まり（押韻・平仄）、修辞法（対句・典故）などについて理解する。 ・作品に現われた漢文の語法・文法について、理解を深める。 ・以上のような基礎的な理解の上に立ち、作品に作者（詩人）のどのような表現の工夫が凝らされているかに着目して、作品の鑑賞を出来るようにする。 ・漢文の授業を展開していく際の基礎力を育成するために特別講座を実施する。					
(5)授業計画	※特別講義を設定する授業回は変更となる場合がある 第1回：漢文学の素養について 第2回：漢詩・漢文を学習する意義 / 学習指導要領解説 / 漢詩に関する基礎知識（脚韻について） 第3回：〔外部講師による特別講義①〕「漢文学の基礎 1（日本語と漢字・漢文 / 散文、故事・逸話、物語、史伝、思想について / 漢文教育について）」 第4回：信大教育学部に存在する漢文頌徳碑について 第5回：漢詩に関する基礎知識（平仄について / 古体詩と近体詩） / 唐詩選 五言絶句「春晓」他 第6回：唐詩選① 五言絶句「題袁氏別業」他 第7回：唐詩選② 五言絶句「鹿柴」他 第8回：唐詩選③ 五言絶句「秋浦歌」他 第9回：唐詩選④ 七言絶句「早發白帝城」「涼州詞」他 第10回 第11回：〔外部講師による特別講義②（集中授業）〕 「漢文学の基礎 2（漢文教育の実際 / 授業の実例 / 句法・語彙の指導 / 主体的で対話的な学び）」〔STEAM教育含む〕 第12回：唐詩選⑤ 七言絶句「楓橋夜泊」他 第13回：唐詩の選集 / 白居易 七言律詩「香爐峯下新卜山居草堂初成偶題東壁」他 第14回：唐詩選⑥ 七言絶句「夜雨寄北」他 総まとめ 授業アンケート 定期試験					
(6)成績評価の方法	・「授業の達成目標2」の「漢文学に関する専門的知識が習得できているか」を図るため定期試験（60%）によって、「授業の達成目標1」の「基礎力と実践力」を図るため毎時間の授業で課す課題（40%）によって、この双方を総合的に判断した結果に基づいて評価する。					
(7)成績評価の基準	・筆記試験は講義に即した内容から出題する。授業の達成目標への到達度は得点率に応じて評価する。 ・毎時間の課題及び定期試験において漢文学に関する専門的知識が習得できた割合が9割以上を「卓越している」、8割以上9割未満を「かなり上にある」、7割以上8割未満を「やや上にある」、6割以上7割未満を「水準にある」とし、併せて授業に取り組む姿勢を加味する。 秀：公共的使命感や倫理観に支えられた教育の専門家に求められる教養を高度に身につけている。また、授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題等に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：公共的使命感や倫理観に支えられた教育の専門家に求められる教養を正確に身につけている。また、授業内容を正確に理解し、積極的な探究姿勢をもって課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：公共的使命感や倫理観に支えられた教育の専門家に求められる教養をおおよそ身につけている。また、授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題等に誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可：公共的使命感や倫理観に支えられた教育の専門家に求められる教養を一部身につけている。また、授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。					

(7)成績評価の基準	不可：公共的使命感や倫理観に支えられた教育の専門家に求められる教養を身につけていない。また、授業内容を理解しておらず、与えられた課題に誠実に取り組んでおらず、努力の認められる活動成果を示していない。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。
(8)事前事後学習の内容	【事前学習】 ・次回授業までに行ってくる課題を出すことがある。当該授業で扱う内容となる。真摯に取り組んでほしい。 【事後学習】 ・各授業時間内では習得しきれなかったと考える学習内容については、次の授業までに各自補習しておく。
(9)履修上の注意	予習をして授業に臨むこと。予習時には漢和辞典を引いて作品の解釈を試み、授業ではさらに理解を深め、表現工夫を考察するなど主体的に取り組んでほしい。授業の際は必ず漢和辞典（紙媒体のもの。詳細は第1回授業にて説明する）を持参すること。 ※「外部講師による特別講義②」は集中授業として実施する。 集中授業日時：12月12日（土）1～2時限＝8：40～12：10 集中授業会場：M301
(10)質問、相談への対応及び連絡先	原則としては授業時に直接の形が望ましい。個人的な相談や質問等はメール、もしくはオフィスアワーを利用してもよい。対応可能な場合はその他の時間でもよい。 メールアドレス：hideyokb@shinshu-u.ac.jp 研究室電話番号：内線4073 研究室：M413
【教科書】	【必携教科書 ※必ず購入すること】 ・『唐詩選（中）』（前野直彬注解 岩波文庫）（1,059円）＝A ・『唐詩選（下）』（前野直彬注解 岩波文庫）（831円）＝B 【推薦教科書 ※購入は任意とする】 ・『唐詩選（上）』（前野直彬注解 岩波文庫）（960円）＝C ※本授業の教科書に関して、次の3点に注意すること。 ①「必携教科書」のAとBは、 「漢文学基礎」第1回授業日までに、 教育学部生協で用意してくださってある「注文用紙」に 必要事項を記入の上、書籍代を前払いの上注文すること。 （↑教育学部生協書籍部からのお願いです） ②上記3冊に代わって、次のテキストを購入して 本授業の教科書としてもよい。 ・『校註 唐詩選』（簡野道明編 明治書院）（3,600円）＝D ③本授業に際しては、AとB、もしくはDを必ず持参すること。
【参考文献】	『新編 中国詩文選』（内山知也編 白帝社） 『唐詩の鑑賞』（横山伊勢雄著 ぎょうせい） 『漢詩のイメージ』（佐藤保著 大修館書店） 『詳講 漢詩入門』（佐藤保著 筑摩書房） 『中国詩人選集』（岩波書店） 『注校 唐詩解釈辞典』（松浦友久編 大修館書店） など